

巡礼者イニゴ

聖イグナチオ・デ・ロヨラの劇的な生涯の劇

塩谷恵策SJ

(第六部 イスパニアでの勉学期)

54

第十九幕

1524年1月14日

ヴェネツィアにて

登場人物：巡礼者 イニゴ

父 マルコ・アントニオ・トレビサーノ

母 トレビサーノ夫人

長女 ドロテア

次女 マリア

長男 ホアニ

第一場 トレヴィサーノ家の玄関

【語り】 1524年1月14日に イニゴは 2か月半にも及んだキプロス島からの航海を終え、ヴェネツィアに帰り着きました。以前、エルサレムへの船を待つ間イニゴを親切に泊めて世話をしてくれたトレビサーノ家を訪ね、家族から大喜びで迎えられます。

トレビサーノ氏：イニゴさん、お帰りなさい。

(振り返って、大声で) おーい、イニゴさんがお帰りになったよ！！

(イニゴに) よくまあご無事で！いつ聖地から戻られたのですか？

イニゴ：トレビサーノさん、お久しぶりです。今朝ヴェネツィアに着きました。

トレビサーノ夫人：(小走りに玄関に出て) まあ、イニゴ様、お帰りなさいませ。ご無事で本当に良かった。ご出帆になってからずっと家中でご無事

をお祈りしていました。

イニゴ： お祈り有難うございます。おかげ様で 神様が道中いろいろな危険から護ってくださいました。エルサレムへの船を待つ間も、皆様には一方ならぬお世話になりました。御恩は決して忘れません。

トレビサーノ夫人：それにしても貴方は、この寒さの中で、半ズボン、裸足に靴を履き、短い上着を着ているだけではありませんか！それももう擦り切れて……

トレビサーノ氏：この寒い季節に、船の上では海風がさらに冷たかったですよ！

イニゴ： 9月にエルサレムを発った時は温かかったのですが、キプロス島からここまで2か月半もかかり、先月からとても寒くなりました。

トレビサーノ夫人：さあさあ早く中にお入りになって温まってください。(家政婦に) リリア、暖炉に薪をたくさん入れてください。

第二場 夕食後 トレビサーノ家の居間

イニゴ： 美味しいご馳走を有難うございました。今日初めて口にした食事でした。

トレビサーノ氏：長い船旅でさぞお疲れでしょう。今夜はゆっくりお休みください。いつまでもご滞在くださっていいのですよ。子供たちも喜ぶでしょう。

ドロテア：(長女) その通りですよ。神様について教えていただきたいことが山ほどありますもの。

イニゴ：ありがたいお言葉ですが、実は早めにイスパニアに帰ろうと思っているのです。

トレビサーノ夫人：お帰りになって何をなさるおつもりですか？

イニゴ：たくさんの人々の救霊に役立つために まず勉強する必要があるのです。

はないかと考えるようになりました。

トレビサーノ 父：それはいい考えです。私ども信者も、特に宗教革命の時代と言われる現代、カトリック教会の神学や教理をきちんと学んだ人々の指導を受けながら、正当な信仰生活を送りたいと思っています。あなたがイタリア語ができるなら、喜んでこの家に泊まっていただき、ここから神学院に通っていただくのだが……

イニゴ：哲学、神学を学ぶ前提になるラテン語を先ず学ばねばなりません。スペイン語でラテン語の手ほどきをしてくれる人を探すためにバルセローナに行こうと考えています。

トレビサーノ 父：あなたのお歳で語学の勉強を始めるのは大変だと思いますが、あなたなら、神のためにその労苦もいとわないでしょう。バルセローナまでの旅のために、これを役立ててください。

イニゴ： いつもご親切にありがとうございます。ジュリオ（金貨）をこんなに頂いて。

トレビサーノ 父：少しでもお役に立てれば幸いです。どうぞお使いください。

イニゴ： 有難うございます。それでは、明朝早めにジェノヴァに向かうことにしますので、今夜はこれで休ませていただきます。

トレビサーノ夫人：長旅できぞお疲れでしょう。どうぞ、ゆっくりお休みください。

マリア： ジェノヴァまでの道は今とても危ないそうですよ。フランス軍とイスパニア軍の戦場になっているようです。

ホアン： 戦争が終わるまで、イニゴさんは家に泊まっていればいいのに。

イニゴ： 心配してくれてありがとう。今まで通り、神様がきっと護ってくださいるから大丈夫だよ。

それでは皆さん お休みなさい。

一同： お休みなさい。